

令和8年熊本地震への当院の対応 ～大森赤十字病院救護班（第2班）活動開始～



大森赤十字病院

令和8年7月28日16時27分に熊本県熊本地方を震源とした震度7（熊本県宇城市、氷川町）の地震に伴い、発災直後から日本赤十字社は災害支援活動を継続して行っています。

当院からは、第2班となる救護班（8名）を派遣。9月16日（水）には出発式を実施しました。

- 活動日時：令和8年9月17日（木）～ 9月20日（日）
- 活動場所： 熊本県八代市
- 活動内容：巡回診療と避難所アセスメント（避難所の状況や避難者のニーズを確認）等
- 派遣者：大森赤十字病院 救護班 8名

（医師2名、看護師長1名、看護師2名、薬剤師1名 主事2名）

※その他に調整員1名（日本赤十字社東京都支部）



「苦しんでいる人を救う」という赤十字の
使命を胸に活動すると決意表明



「皆さんの支援が被災者の心強い
支えになる」と激励する院長



職員の力強い後押しを受け、
熊本へ向かう救護班

令和8年熊本地震への当院の対応 ②

～大森赤十字病院救護班（第2班）活動開始～



大森赤十字病院

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

本日より、救護班は八代市内の避難所で巡回診療を実施しました。
避難者一人ひとりに寄り添いながら健康状態を確認するとともに避難生活における困りごとや健康上の不安についてお話を伺いました。

■ 活動日：令和8年9月17日

■ 活動内容

避難所での巡回診療

■ 活動場所

日奈久コミュニティセンター

麦島コミュニティセンター



巡回診療に向け
避難所の状況を確認



ストックを使った運動で
エコノミークラス症候群等予防



対話を通じて健康状態を把握



水栓が使用できず、アルコール
消毒を呼びかける掲示